

鹿児島中央高等学校 40周年愛好歌

「たいせつ」

作詞 鹿児島中央高校40周年愛好歌制作委員会
作曲 吉俣 良 / 編詞 うまごえ 尚子

The musical score consists of eight staves of music in 4/4 time with a key signature of one sharp (F#). The lyrics are written in Japanese below each staff, corresponding to the chords above them. The chords include D, F#m/C#, Bm, F#m/A, G, D/F#, E7sus4, A7sus4, D, C/D, Gm7(9), F#m7, Bm7, Em7, Gm7/C, Fm7(9), Em7, A9, F#m7, Bm7, Em7, A7sus4, A7, D, F#m7, Bm7, Em, Em(M7), Em7, Em7/A, A, A/G, F#m7, F#7, Bm, E9, A7sus4, A7, D, F#m7, Bm7, Em, Em(M7), Em7, A7sus4, A7, F#m7, F#7, Bm7, Em7, Em7/A, G, D.

たいせつ

作詞 鹿児島中央高校40周年愛好歌制作委員会
作曲 吉俣 良 編詞 うまごえ 尚子

いつまでも見つめていたいと、遠くから願った背中
無邪気な笑顔、輝いてたひとみ
永遠にこのときがあることを信じてた
開けない扉もどかしく、言えなかつた言葉あるけれど
背中を押してくれたのは、大切なこの場所

いつか思い出すのかな、渡り廊下から見つめた
高く空に吸い込まれたボールを
春が来て夏が過ぎて、秋に会い冬が行くけれど
心は感じていた、春がもう来ていることを

涙ぐんだり笑つたり、声の向こうには友がいた
大切なことは、わかりあうことだと
そうだね、今なら素直にうなづける
叶わない望みはないから、どんな奇跡もおこせるから
キヤンバスに描くのは、果てのないこの想い

いつか思い出すのかな、月明かりの下でひとり
深呼吸して星と話したこと
春が来て夏が過ぎて、秋に会い冬が行くけれど
本当は知っていた、同じ春は来ないことを

いつか思い出すのかな、同じ風が吹いたとき
背中を押してくれた大切な場所
春が来て夏が過ぎて、秋に会い冬が行くけれど
変わらないのはただ、春があふれてたこの場所